

EN 14126 および ASTM F 1671 規格の概要

新型コロナウイルス感染症を引き起こすウイルスのようなウイルスから身を守るための防護服を選定する時、適切な保護を確実にするため、どのような規制基準を参考するべきかを知ることが重要です。

全身防護服は、化学防護服のタイプテストと名称を使用し、防護服の完全性が試験および分類されます。次に、B が化学物質のタイプに追加され、感染性物質からの保護を示します。高レベルの曝露による血液媒介病原体からの保護には、「タイプ 4-B」および ISO 16604 を検討する必要があります。

欧州連合では、感染性病原体から保護する防護服に関する EN 14126 規格が、バクテリア、菌類、ウイルスからユーザーを守る衣類またはガウンの性能を規定しています。EN 14126 は、様々な種類の曝露を使用し、感染性病原体に対する防護服材料の耐浸透性を測定するために様々な試験方法を使用しています。

北米では、ASTM F 1671 が、防護服に使用される材料の血液媒介性病原体の耐浸透性を試験するための規格です。多くのエンドユーザー間では、あらゆるタイプの耐液体性の衣服や外科用ガウンまたは隔離用ガウンを着用すると、血液、体液、その他の感染の可能性がある物質 (OPIM) から保護されるとよく誤解されています。ASTM F 1671 に適合している衣類および/または付属品のみが、血液およびウイルスの浸透に対して不透過性があると見なされます。

細菌とウイルスの違い

細菌の大きさ



ウイルスの大きさ



細菌の大きさは、通常 1~10 ミクロンです。一方、ウイルスは、細菌の 10 分の 1~100 分の 1 の大きさです。

非常に微小なウイルスは、通常の防護服のピンホールを簡単に透過できます。しかし、EN 14126 規格マーキングのある防護服は、微小なウイルスに対しても効果的なバリアとして機能することが認証されています。



EN 14126

ウイルスを含む感染性病原体からの保護を提供する防護服向け。



EN 14126

EN 14126 認定防護服にはこの表示があります。

EN 14126 は、以下の材料試験で構成されています。

合成血液を用いた透過試験 (ISO 16603)

ウイルスに対する耐透過性 (ISO 16604)

細菌に対する耐透過性 (ISO 22610)

生物学的に感染したエアロゾルに対する耐透過性 (ISO/DIS 22611)

感染したほりに対する耐透過性 (ISO 22612)

防護服の使用におけるベストプラクティス



個人用保護具の着用前、脱衣後に、20 秒間、石鹸と水で手を洗います



着用者は個人用保護具の着脱方法について訓練を受ける必要があります



きちんとフィットする個人用防護服を着用してください。動作やコミュニケーションを妨げないように着用します



個人用保護具アイテムの内側を外側にしながら脱衣します



感染の拡大を予防するため、汚染された領域の外では個人用保護具を着用しないでください



破損している、または汚れが目に見える個人用保護具アイテムは絶対に使用しないでください

➡ Ansell.com で、世界の PPE 規制に関する最新情報、ウイルス曝露からの保護が認証された全製品をご覧ください。